

武蔵村山市立第一小学校 今年度の取組

昨年度の成果を生かし、今年度は、SDGsと教科等との関連をより明確に位置付け、本校で身に付けさせたい力を育成する取組を行いました。その一例を御紹介いたします。詳細は、表面の学校ホームページからインターネットで御覧ください。

研究授業Ⅰ 第4学年「水害からくらしを守る」(社会)

災害から人々を守る活動と災害に対する備えについて、児童の理解を深めることで、自分たちの住んでいる町の安全を守るために、自分たちに何ができるのか考えさせ、防災意識を高める。



1 本時の目標【行動する力】

水害からくらしを守る方法をすすんで考え、自分の考えを表現することができる。

2 授業展開

- ①映像を通して、水害の怖さを感じる。
- ②水害からくらしを守る方法について考える。
- ③自分の考えを一人1枚短冊に書き、黒板に貼って共有する。
- ④考えた内容ごとに仲間分けをし、場に応じた取組があることを知る。
- ⑤意見交換をし、自分が考える水害対策を発表する。



仲間分けをする児童

3 誰一人取り残さない

普段から自分の考えを短冊で書く活動を重ね、考えを言語化できるようにする。

4 児童の感想

くらしを守るための対策で、「あったらちょっと被害が減るかな。」という意見が多くあった。

研究授業Ⅱ 第2学年「あったらいいな、こんなもの」(国語)

SDGsの課題を解決していく上で、他者との協力は不可欠である。

そのため、相手の話を聞き、受け止め、反応することを繰り返す中で、他者と共創していく力を身に付けさせる。

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



1 本時の目標【共創する力】

話し手、聞き手の立場になって、説明したり質問したりすることができる。

2 授業展開

- ①道具をパワーアップさせる質問を振り返る。
- ②話し合いの仕方を確認する。
- ③教師を相手に学級全体で話し合いの練習をする。
- ④横の座席の児童でペアを組んで話し合い、成果や課題を共有する。
- ⑤前後の座席の児童でペアを組んで話し合い、考えた道具についての工夫を重ねる。



ペアで話し合う児童

3 誰一人取り残さない

相手の話を受け止め、反応する活動を通して、他者と共創していく力を身に付けさせる。

4 児童の感想

友達は質問を聞き取ってくれて、聞きたいことをちゃんと答えてくれて、工夫ができた。